



本州におけるトキの野生復帰を通じて地域づくりの支援と能登半島の創造的復興に貢献します。

1. 事業目的

放鳥地域周辺でのトキの定着に必要な事業を行い、近い将来本州においてもトキが定着・繁殖し、国内に複数の個体群の創出を目指すとともに、事業を通じてトキをシンボルとした地域づくりや復興支援に寄与する。

2. 事業内容

トキの定着のためには一定期間の継続的な放鳥が必要。令和8年5～6月の能登半島での放鳥で得られた知見や放鳥後のトキの生息状況等のデータを参考に、令和9年度も必要な機材の準備や体制を整備した上で、島根県出雲市等で取組自治体と協働で放鳥を実施予定。放鳥後はトキの分布・拡散状況を追跡機器やモニタリング等により把握し、そのデータを解析し、次の放鳥の検討に利用する。また、観察方法やモニタリングに関する技術的支援を行う。

- 放鳥準備及び放鳥
 - ・本州でのトキの放鳥に係る機材等の準備
- トキのモニタリング・データ解析等
 - ・放鳥個体の分布、生息状況の把握
 - ・追跡機器やモニタリングから得られたデータ解析等
- 定着・地域づくりの支援
 - ・トキの定着を阻害しない観察方法の周知（巡視、普及啓発資料の配布等）

3. 事業スキーム

- 事業形態 請負事業
- 請負先 民間事業者・団体
- 実施期間 令和9年度

4. 事業イメージ

■放鳥準備



追跡機器の調達、装着



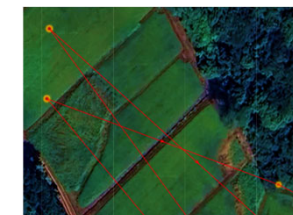
巡視及び観察方法に関する普及啓発

■モニタリング



放鳥後間もない時期や遠隔地での重点モニタリング等

■データ解析・検討



追跡機器やモニタリングデータを用いた分析（利用環境把握等）

トキの定着による地域づくりを支援

能登半島でのトキをシンボルとした
創造的復興に貢献